

東洋史籍講読4－III

科目ナンバリング HAA-407
選択必修 2単位

澁谷 由里

1. 授業の概要(ねらい)

「ストレンジャー」・芥川龍之介がみた中国

1920年代における、芥川龍之介の中国旅行記を通じて、中華民国の社会状況や日中関係を学びます。また民国史に限らず、中国の文化や風俗、前近代の歴史も幅広く学び、芥川も魅了された「中国らしさ」について、皆さんと一緒に考えていく授業です。

2. 授業の到達目標

1. 中国近現代史および近代日中関係史の基礎を体得できる。

2. 前近代史の研究成果や、歴史学の周辺領域を、自分の研究に役立てられるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

指定箇所についての口頭報告、および自主的研究に基づく報告(あわせて60%)

ほかの履修者の報告に対する質問、意見(40%)

4. 教科書・参考文献

教科書

山田俊治(編) 『芥川竜之介紀行文集』 岩波文庫

5. 準備学修の内容

指定箇所については各種辞典・事典で読み方や意味、概略を調べ、ノートにまとめて、授業で口頭報告ができるように準備してください。

自主的研究は、指定箇所からの発展課題を自分で設定するか、もしくは従来の自分の関心事に基づく課題を設定して、口頭報告の準備をしてください。

6. その他履修上の注意事項

自分の担当は責任をもってまっとうしてください。理由なく5回以上休んだり、報告をしなかったり、レポートを提出しなかった場合には単位を認定できません。ほかの履修者の報告もよく聞き、コメントペーパーや口頭で意見や質問を出し、報告者の回答や教員の補足説明からも学んで、秋期以降の学習につなげてください。

7. 授業内容

【第1回】 教員の自己紹介およびガイダンス(4月15日、LMS配信)

【第2回】 履修者の自己紹介と分担決め、テキストの歴史的背景について(教員による講義1)(4月22日、対面授業)

【第3回】 口頭報告の方法とレジュメ作成法(教員による講義2)(4月24日、LMS配信)

【第4回】 工具書の使い方(MELICでの実習)(5月6日、対面授業)
※ただしコロナ蔓延の状況によってはLMS配信などに変更します。

【第5回】 NHKドラマ「ストレンジャー 上海の芥川龍之介」(2019年12月30日放映、文化庁芸術祭大賞受賞作品)鑑賞と学習(1)(5月13日、対面授業)

【第6回】 「ストレンジャー」鑑賞と学習(2)(5月20日、対面授業)

【第7回】 指定箇所についての学生の口頭報告(1)(5月27日、対面授業)

【第8回】 指定箇所についての学生の口頭報告(2)(6月3日、対面授業)

【第9回】 指定箇所についての学生の口頭報告(3)(6月10日、対面授業)

【第10回】 指定箇所についての学生の口頭報告(4)(6月17日、対面授業)

【第11回】 自主的研究に基づく学生の口頭報告(1)(6月24日、対面授業)

【第12回】 自主的研究に基づく学生の口頭報告(2)(7月1日、対面授業)

【第13回】 自主的研究に基づく学生の口頭報告(3)(7月8日、対面授業)

【第14回】 自主的研究に基づく学生の口頭報告(4)(7月15日、対面授業)

【第15回】 各自の振り返り、秋期に向けての目標設定、夏休み中のレポート課題提示(7月22日、対面授業)

※祝日ですが平常授業日です※